

安倍内閣は「強い経済」を掲げて、従来の労働のルールをひっくり返すような制度
改革を推し進めようとしています。

労働者派遣法の大改悪が企まれ、通常国会に出されましたが、197の地方自治
体決議が上がるなど反対の声が広がり、審議未了・廃案となりました。またもう一
つの成長戦略の目玉として、第一次安倍政権でとん挫した「ホワイトカラー・エグゼ
ンション」を復活させ、残業代ゼロ制度Ⅱ「労働時間制度」をつくる根本改悪を、
来年の通常国会で法案化をめざすと言われています。また、解雇の金銭的解決の

安倍・労働法制改悪との

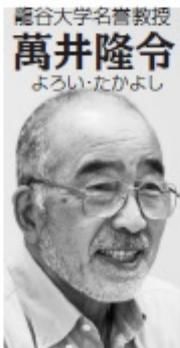
日本の労働の 総「ブラック」化は許さない

しくみや「限定正社員」制度を導入する攻撃も続いています。
この座談会では、労働法研究者から萬井さん、派遣労働者の
裁判に取り組む伊須弁護士、労働運動の先頭に立つ井上さ
んに、こうした安倍政権の労働法制改悪の問題点と、労働
者・国民の立場から打開への展望をお聞きしました。

(司会は編集部)

対決点

座談会



安倍政権の労働法制改悪の
全体をどうとらえるか

——まず、安倍戦略との関係で、派遣法「改正」案や労働法
制の改悪をどうとらえたらいいでしょうか。

写真—田沼洋一